

(様式1)

## 令和3年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
県民公園太閤山ランド 都市計画課

2 施設所在地  
射水市黒河

3 施設設置年度  
昭和58 年度

4 設置目的  
県民に休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的なレクリエーションの場を提供するため、昭和58年に開園した県内最大の広域公園

5 施設概要  
敷地面積：95.9ha  
主な施設  
・プール広場：29,300㎡  
・展望塔：鉄筋コンクリート 1,150㎡、高さ92m  
・ふるさとパレス（多目的施設）：鉄筋コンクリート 6,248㎡  
・ファミリースポーツプラザ（体育館）：鉄筋コンクリート 2,563㎡  
・こどもみらい館：鉄筋コンクリート 2,610㎡  
（こどもみらい館の管理状況評価は、所管課である子育て支援課で実施）

6 指定管理者  
公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間  
5 年  
平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日

### 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

#### (1) 利用者数（人）

H29	H30	R1	R2	R3
770,860	789,040	788,444	454,840	541,298

#### (2) 利用（使用）料金収入（千円）

H29	H30	R1	R2	R3
89,155	91,859	91,541	39,142	39,816

#### (3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H29	H30	R1	R2	R3
88,972	88,972	89,796	90,620	90,620

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・利用者数は令和2年度比119.0% (86,458人増)、有料公園施設の料金収入は令和2年度比101.7% (674千円増)となった。
- ・令和2年度に引き続き新型コロナウイルスの影響があったものの、室内施設から屋外利用への切り替え等も見られ、利用者数、料金収入ともに微増となった。
- ・ただし、プール広場は2,500人の人数制限を行い開業したが県内の感染拡大に伴い営業を中止することになり、お盆時期の悪天候の影響もあり、利用が大きく減少した。

### (2) サービス向上に向けた取組み

- ・プール広場は令和2年度に引き続き新型コロナウイルス対策を実施し、令和3年度は新たにロッカー棟内オゾン発生装置の設置や更衣室内の案内スタッフ増員など、安心して利用いただける環境づくりに努めた。
- ・ハロウィンイベントでは、ハロウィン当日の開催となったため、写真コンテストやジャンボカボチャの重さ当てクイズ、ランタン作りなど、よりハロウィンに特化した企画を行った。
- ・園内で採れた松ぼっくりなどを使用した「ミニクリスマスツリー」や「ミニ門松」の制作キットを近隣企業とコラボレーションして販売した。

### (3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・ホームページ・SNSでイベント情報等の提供を行ったほか、令和3年度新たにドローン撮影した桜・紅葉やイベントなどの動画を配信し、公園の魅力の広報に努めた。
- ・SNS登録者限定の抽選会を開催し、会員数増加を図った。
- ・利用者の利便性を高めるため、駐車場やトレーンのシーズンパスを販売した。令和3年度には新型コロナウイルス対策としてオンライン販売を開始し、100件以上の申込みがあった。
- ・令和3年度からの新しいこうやまトレーンの運行開始を記念して、オリジナルグッズのハンカチ、マスキングテープを作成し販売した。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	①あじさい祭りWEBアンケート（6月19日～7月4日の土日） ②イベント参加者（5月3日、6月25日、11月7日） ③駐車場シーズンパス利用者（9月13日～10月3日） ④LINE@お友達登録者（3月19日～21日） ⑤公園認知度調査（12月19日ファボーレ富山）
回答者数	①607人、②61人、③650人、④805人、⑤326人
結果	①散策や憩いの場としての利用：「満足」「やや満足」87.8% 子どもの遊び場としての安心感、安全性：「満足」「やや満足」87.5% ②参加者の満足度は高かった。 ③プール営業について、十分な対策で安心して利用できたと好評をいただいた一方で、人の多さを不安に思う意見やチケット販売状況の案内が不十分との意見もあった。 ④30～40代のファミリー層をメインに過去最多の回答を得た。 ⑤行ったことのある公園では298人、一番よく行く公園では46人の回答があった。
結果を踏まえた改善事項	令和2年度に引き続き健康づくりに関するイベント開催の要望があったため、ウォーキングイベントを実施する予定。

②その他利用者の声を反映させる取組み

- ・ボランティア、地元住民、競技団体、利用団体等から意見聴取
- ・意見箱の設置（4か所）

③主な苦情と対応

・コロナ対策としてプール広場のチケットが利用日指定となったが、悪天候時に払い戻ししてほしい。⇒プール閉鎖時しか返金できない旨説明したがなかなか納得を得られず、今後、平日は利用日を指定しない等対応を検討する。

(5)個人情報保護の取組み

・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6)関係団体との連携

・公園内の花壇の整備やガイドなどで活動しているパークボランティアと密接に連携しており、利用者からも好評を得ている。  
・あじさい祭りを、地元地域等11団体との実行委員会を組織して開催した。

(7)施設・設備の維持管理

・不具合や劣化等について保守・点検を実施し、必要に応じて修繕を行うなど、適切に維持管理を行っている。

(8)危機管理・安全管理などの取組み

・都市公園緊急事態対応マニュアルを作成し、緊急時の対応方法や連絡体制を定めるなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

—

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・令和3年度のプール営業については、「新型コロナウイルス」感染拡大措置を実施しながら、県民平日半額割引を導入し、来場者数増の対策に努めてきた。令和4年度以降も、来場者増に努めつつ、引き続き利用者が安心して楽しむことができるような取り組みを進めていきたい。

・令和3年度に知事政策局で太閤山ランド魅力向上調査の報告書が取りまとめられた。開設から約40年が経ち、施設の老朽化とともに、現在のニーズに対応していない施設もみられており、民間活力を取り入れ、資金やノウハウ、ネットワークを最大限に活用し、県と民間事業者が協働し互いに Win-Win の関係となれるような事業や施設、サービスを導入することで、誰もが年間を通じて楽しめる公園の整備を進めていきたい。

・本公園は、平成25年にライフサイクルコストの縮減及び修繕・更新費用の平準化を進めることを目的として長寿命化計画を策定し、整備を進めてきている。引き続き、公園施設の機能保全と安全対策を図るため、日常の維持管理に努めてもらいたい。